

放水始め!!!!



●主な内容●

村議会臨時会	2
林野火災注意報・警報	3
区長会総会	4
物価高対応子育て応援手当 確定申告	12

13 12 4 3 2

川上宣言

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。
毎号1項目ずつ掲載していきます。)

村消防団出初式…2ページ

第1回川上村議会 臨時会を開催

令和8年第1回川上村議会臨時会が1月19日（月）に開催されました。令和7年度一般会計予算補正の1議案が上程され、審議の後いずれも承認、可決されました。

◆令和7年度川上村一般会計予算補正（第4号）について

歳入歳出それぞれ9,434万5千円を増額し、予算総額は36億3,760万9千円となりました。これは、物価高対応子育て応援手当の支給、地域振興券の配布、昨年11月に発生した村道井光線の落石災害に伴う災害復旧事業の実施などが主な内容です。



予算補正の議案説明

川上村消防団出初式を挙行



団長の指揮のもと行われた入場行進

1月10日（土）、やまぶきホールにて、村消防団出初式が挙行されました。昨年は台風による被害こそありませんでした。村内において林野火災や崩落による通行止めなどが発生しました。鍵敬二団長は訓示にて、災害の際の団員の昼夜を通じた活動への感謝や、より一層の訓練・啓発活動への徹底を呼びかけられました。式典終了後には、屋外にて放水演習が行われました。村内の子どもたちも見学に訪れ、団員の機敏な行動を目の当たりにし、未来の消防団員（？）たちも目を輝かせていました。

◆栗山秀夫前川上村消防団長に感謝状が贈られる
村消防団出初式において、昨年3月末に退団された栗山秀夫前消防団長に感謝状が贈られました。

栗山氏は、平成15年4月から22年間の永きに渡り消防団長を務められ、昨年3月末をもって退任されました。その間、積極的に災害を想定した訓練に励まれ、火災・災害現場においても村民の生命と財産を守るべく、消防団員を指揮・統率されてきました。そのさまざまな功績の中でも、有事の際にも団員の公務災害を一切発生させることなく、安全管理も徹底されてきました。長い間、本当にお疲れ様でした。



感謝状を受けられる栗山前団長

◆表彰者一覧（敬称略） 村消防団出初式 村長表彰

第7分団	副分団長	嶋岡 慶道
第6分団	部長	泉 寿一
第2分団	部長	森脇 浩之
第1分団	団員	久保 金也
団長表彰		
第2分団	分団長	梅本 和幸
第1分団	副分団長	猪腰 直樹
本部	部長	伊藤 康裕
第2分団	班長	松本 勝典
吉野警察署長感謝状		
第1分団	分団長	上平伸太郎
第7分団	団員	大前 卓巳
吉野支部連合出初式		
※1月18日（日）黒滝村で挙行		
知事表彰		
本部	副団長	松本 隆昭
本部	副団長	玉井 龍一
消防協会会長表彰		
第8分団	分団長	中村 雅仁
第1分団	団員	岩井 健次
消防協会吉野支部長表彰		
第5分団	班長	堀谷 奨
第6分団	班長	田原 昌幸
第7分団	団員	菅 義浩
第2分団	団員	平井 健太
第4分団	団員	亀井 裕二
第4分団	団員	亀井 孝行

全国で相次ぐ林野火災を受け、奈良県広域消防組合火災予防条例に

林野火災注意報・警報 が規定されました！(令和8年1月1日施行)

林野火災注意報

林野火災警報

火の使用
の制限に

努力義務が課されます

義務が課されます

(罰則規定あり：30万円以下の罰金)

○火の使用制限事項

- ・山林、原野等における火入れ
- ・煙火の消費
- ・屋外における火遊びまたはたき火
- ・屋外における引火性または爆発性の物品その他可燃物の付近での喫煙
- ・屋外において、窓、出入口等を開けたままでの裸火使用
- ・山林、原野等の場所での喫煙
- ・残火、取炭または火粉の始末

対象期間 毎年1月1日～5月31日までの間

発令指標 **林野火災注意報** (下①②のいずれかの場合)

①前3日間の合計降水量が1mm以下 かつ 前30日間の合計降水量が30mm以下

②前3日間の合計降水量が1mm以下 かつ 乾燥注意報が発令

林野火災警報

林野火災注意報の発令指標に加え、強風注意報が発令されている場合

林野火災注意報・警報の発令状況は奈良県広域消防組合ホームページで確認できます→

URL：<https://www.naraksk119.jp/>

なお、林野火災警報発令時は村からもかわかみ放送等で周知します。



◆「たき火」をする際は消防署に届出を行いましょ！

たき火をする際には、事前に消防署へ届出することが火災予防条例により義務付けられています。これは、たき火等が火災と誤認され消防車が誤って出動してしまうことや、林野火災注意報・警報発令時の火の使用について消防署から適切な指導を行うためです。

<対象となる行為の例>

たき火、とんど、キャンプファイヤー、かまど、野焼き、ドラム缶焼却、炎を使った土壌消毒や殺虫、たいまつ

→**林野火災注意報・警報が発令された場合は、これらの火の使用についての制限がかかります。**

※届出に基づき、消防署から火の使用について延期または中止の要請があります。

対象期間 毎年1月1日～5月31日までの間

届出先 奈良県広域消防組合吉野消防署

届出様式 奈良県広域消防組合ホームページに掲載しています→

URL：<https://www.naraksk119.jp/0000003198.html>



**雨が少なく空気が乾燥し火災が起こりやすい時期です。
ひとりひとりの心がけで火災を防ぎましょ！**

【問い合わせ先】 奈良県広域消防組合吉野消防署 TEL0746-32-1011
または、総務税務課 TEL52-0111

区長会総会を開催

1月23日（金）、役場第一会議室にて、令和8年区長会総会が行われました。総会に先立ち、永きにわたり区長を務めていただいている辰巳八郎区長（大滝）に対し、永年区長特別表彰が贈られました。

区長の皆さんには、日ごろより地区の代表として村民と行政機関を繋いでご尽力いただくなど、さまざまな場面で活躍していただいております。今年も1年間、よろしくお願ひします。



総会にて辰巳区長会長のあいさつ

大字	東川	西河	大滝	白屋	寺尾	北塩谷	迫	宮の平	高原	人知	井戸	武木	井光	下多古	白川渡	粉尾	中奥	瀬戸	北和田	神之谷	上多古	柏木	上谷	大迫	伯母谷	入之波
氏名（敬称略）	上平 賢次	高貝 忠明	辰巳 八郎	亀本東洋和	伊藤 宗寛	大西 一男	栗山 秀夫	上垣 功	井筒 大勝	福嶋 健二	加藤 理恵	松井 壽	加藤 政博	玉井 龍一	松本 隆昭	春増 公文	勢渡 正文	山本 強	上林 哲士	諏訪久美子	栢本 仁美	嶋岡 慶道	中谷千鶴子	土井 一成	山本 逸朗	中平 寛司
備考		副会長	会長	理事		理事	理事	副会長					理事			副会長		理事								

※令和8年1月23日現在

学生たちが最新の技術を駆使！

川上村×大阪工業大学

川上村PRコンテンツ 優秀作品を表彰

1月13日（火）、大阪工業大学枚方キャンパスにて、「川上村PRコンテンツ」表彰式が行われ、優秀作品を制作した5名の学生に対し、泉谷村長から表彰状が贈られました。

これは、本村と連携協定を締結している同大学との事業の一環であり、情報メディア学科の3年生が映像や音声、文字などを組み合わせるマルチメディア技術を使い、村のPR動画を制作するものです。

今回も学生たちが制作した90作品が集まりました。コンテンツには、「源流ツアーの紹介」「川上村に住みたくなる」「川上村に泊まりに行きたくなる」という村の想いを定めたテーマを定めており、資源や課題について学んで考え、ときに村を訪れて、それぞれの想像



素晴らしい作品を制作された学生の皆さん

◆表彰作品（5作品）

賞	制作者	作品名
金賞	伊達奏来さん	深呼吸の村
銀賞	加藤彩菜さん	旅路
銅賞	大津鉄勝さん	Vlog in Kawakami Village - Nara
	高原遼さん	What is 川上村？
	溝渕晴菜さん	川上村で新生活をはじめよう！

力や企画力で思い思いのストーリーを組み立てられていました。その中でも、「生成AI（人工知能）」などの新しい技術を駆使した作品も見られました。村としても、時代とともに変化する情報発信の方法や在り方について、若者の知恵や力を借りる素晴らしい機会となっており、これらの作品を公式ホームページへの掲載やかわかみテレビにて放映する予定です。

かわかもんがゆく。

―地域おこし協力隊活動記―



◆都倉茂太（人知）

川上村の皆さま、こんにちは。協力隊1年目で、林業チームとして活動している都倉です。

初めて川上村の冬の日々を体験しておりますが噂通りの厳しさで、山での作業では連日寒さとの闘いであり、体調の維持管理の大切さを痛感しております。

東川での奈良型作業道敷設実習も9か月目を迎え、当初は「こんなところに道がつくのか」というような急斜面に手作業での木組みも含めて道付けに取り組んでおりますが、道が入ることで景色が一変し、作業の安全性・効率性が大いに向上することを感じています。

昨年末に事業体へのへり集材準備のお手伝いをさせて頂いていたのですが、へりのスケ



奈良型作業道

ジュールがどんどんと遅れて、この記事を書いている今でも飛んでいないという非常に頭の痛い課題に直面しているのを実感しております。しかし、現在取り組んでいる山への負担を抑えた奈良型作業道をベースにした山の維持管理と材の搬出が、その課題に対する解決策の一つとなると信じ、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

まだまだ寒い日が続いておりますが、皆さまにおかれましては本格的な春が近いことを励みに、どうぞ体調にはお気をつけてお過ごしください。

◆小林早恵（大滝）

着任後、初めての本格的な冬を過ごしております。協力隊1年目の小林早恵です。皆さまはお変わりありませんか？

さて、令和6年度に文化庁から認定される「100年フード」に、柿の葉寿司を含む3名目が登録されたのはご存知でしょうか。その記念として、1月17日（土）・18日（日）に平城宮跡歴史公園内でフェアがありました。大手メーカーさん含む9店舗が大集合し、川上村からは、かわかみ組合を通じて村内の5店舗様のお寿司を携えて行ってまいりました。事業者の皆さまには、両日ともに早朝からのご準備で大変お疲れ様でした。2日目には、源流学園の皆さまも駆けつけていただきありがとうございました！

おかげさまで川上村の柿の葉寿司は大盛況で、予想をはるかに超えて早々と完売しました。ご尽力いただきました事業者様には、改

めまして感謝申し上げます。開催中、柿の葉寿司が大好きな方々が大勢いらっしゃることを目の当たりにして、微力ながら私も村内のPRの一助になれたことは大変うれしく思っています。

今後の活動としましては、柿の葉寿司を含む数々の郷土料理を村内の皆さまとご一緒に伝承できるような集いを考えております。至らぬ点多々ありますが、是非その際はお力添えをいただきますと幸いです。



川上村の柿の葉寿司がずらっと！



教育の風は川上村の教育の様子を伝えるコーナーです。学校教育・社会教育・社会体育・文化や文化財等広範囲にわたりますが、この風に乗せて川上村の教育の良きにおいぐが伝わることを願っています。

◆はたちを祝う会

1月11日(日)、匠の聚にて、令和7年度はたちを祝う会を開催し、「はたち」を迎えた貝谷太一さんが出席しました。

当日は、来賓として村議会の松本博行議長、保育園時代の恩師である中平克子先生、川上小学校恩師の柳井孝文先生、川上中学校恩師の井上敦典先生、鷺見真季先生、さらに野球指導の恩師である仲冬詩先生が出席し、新たな門出を温かく祝福しました。

式典後の懇親会では、恩師の先生方による当時の思い出話が披露され、会場は和やかな雰囲気になりました。多くの人に見守られながら迎えた節目が、貝谷さんにとって新たな一歩となることを期待しています。

◆スキー教室

1月2日(金)～6日(火)まで、長野県梅池スキー場でスキー教室を開催し、かわかみ源流学園7・8年生12名が参加しました。

昨年続き、今年もゲレンデは新雪でふかふかしていたおかげで、生徒たちはこけることを恐れずに一生懸命滑っていました。

最終日は自分達が滑ってみたいコースにチャレンジしました。時折、悲鳴が聞こえたり、雪まみれになっている生徒もいましたが、「もう一回行きたい」「もっと早く滑りたい」と集合時間を少しオーバーするほど滑っていました。



◆川上村公共塾

公共塾では、学校の「総合的な

学習の時間」を活用し、地域資源を教材とした学びや、先端技術、先達の知見、社会の仕組みに触れる機会を提供しています。これにより、「ふるさと力」と「人間力」を育むことを目的としています。

地域の皆さまには、村の歴史や文化を伝える講師としてご協力いただいております。森と水の源流館や関係団体(委託業者・官公庁など)の支援を得ながら、かわかみ源流学園と連携して運営しています。

・金融経済教育

12月4日(木)、後期課程の生徒を対象に金融経済教育を、財務省近畿財務局奈良良財務事務所及び国税庁大阪国税局吉野税務署から講師を招き、税と財政について学びました。

座学の後、グループに分かれて、「財務大臣になって予算を作ろう」に取り組み、国の方針を考えながら、重点事業への予算配分や事業見直しを通して、財政の仕組みや課題について理解を深めました。

・プログラミング教育

プログラミング教育では、仕組みの理解にとどまらず、論理的思考力や問題解決能力、ICTに対応する力を9年間を通して育成する

ことを目的としています。

12月17日(水)は後期課程、18日(木)は前期課程を対象に、プログラミング教室「ロボ団(家電販売エディオングループ)」から講師を招き、学習を行いました。

レゴブロックとPi4Cを用い、植林地への苗木運搬や新校舎建設のための材木運搬、川上宣言具現化のための吉野川清掃などの任務に挑戦し、試行錯誤や話し合いを重ねながら課題解決に取り組みました。特に、前年度にプログラミングを学んだ学年では、任務の達成度が高い様子が見られました。

児童生徒は休み時間になっても意欲的に挑戦を続け、楽しさの中にも真剣に学ぶ姿が印象的でした。



図書館だより

◆蔵書点検のため休館中です

図書館は蔵書点検のため2月6日（金）～28日（土）の期間中、休館しています。休館中の本の返却は、正面玄関前の返却ボックスをご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、3月1日（日）より通常通り開館いたしますので、ぜひご利用ください。

図書館カレンダー

●色の日が休館日●

❖	日	月	火	水	木	金	土
2	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
❖	22	23	24	25	26	27	28

❖	日	月	火	水	木	金	土
3	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
❖	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

◆【お知らせ】図書館 DE トークを開催します！

「絵本とおやつ ～絵本みたいなお菓子をつくってみよう～」

絵本に出てくるおいしそうなお菓子を味わってみたいと思っただけではありませんか？

絵本の読み聞かせのあと、みんなでお菓子を作ってみましょう！



- と き 3月14日（土） **じかん** 午後1時30分～3時30分（受付午後1時～）
- ところ 総合センター栄養指導室 **対象** どなたでも（小学生以下は要保護者同伴）
- 参加費 無料 **定員** 20名
- 持ち物 エプロン、三角巾、手拭き
- 申込 二次元コードを読み込むか、図書館へ電話でお申し込みください→
- 締切 3月5日（木）



※詳しくは今月号折込チラシをご覧ください。

◆2025年 貸出ランキング

村立図書館でよく読まれた本をご紹介します。ぜひ手に取ってみてください。

【一般書】（小説・エッセイ）

- 1位 「カフネ」 阿部暁子（講談社）
- 2位 「ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人」 東野圭吾（光文社）
- 3位 「ひたひたまで注いでコトコト煮詰めた話」 山本ゆり（扶桑社）

【児童書】（絵本）

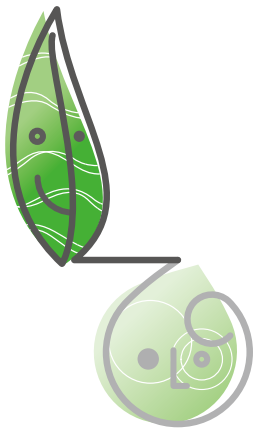
- 1位 「しろくまのパンツ」 tupare tupare（ブロンズ新社）
- 2位 「大ピンチずかん」 鈴木のりたけ（小学館）
- 3位 「ショートケーキになにのせる？」 おおのこうへい（PHP 研究所）

【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 5 8 - 7 0 0 6

ホームページURL：<https://www.vill.kawakami.nara.jp/life/library/>

ホームページにつながります→





森と水の源流館だより

February, 2026 vol.279

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

昔の道具 其の参拾五 (35)

「ます」…穀物、豆類、酒などの容量を量るための道具。トチノキの実を枡へ移すときの音が鳥が木をつつくドラミングのように聴こえるので川上村ではキツツキのことをトチハカリと呼ぶ。



◆森と水の源流館のいま

― 調査報告会

当館では、村や源流に関わる課題解決につながるよう調査・研究を続けており、年1回報告会を開催しています。今年度は吉野川源流に生息するカジカや外来イワナ、民俗資料のデジタルアーカイブ化、里山の保全、山の神事について報告いただきました。今回示された課題を受け、当館では源流人会会員を含め、多くの仲間に関わっていただく解決への活動メニューとしての展開を考えております。



◆森と水の源流館を訪ねて

― 調査に携わる人々

今回の調査報告会では、摂南大学の國島先生と学生の阪下さんと和歌山県立自然博物館の平嶋先生が魚類、大阪工業大学の荒木先生と院生の森松さんが情報科学、京都大学の内藤先生が森林科学、龍谷大学の横田先生が生態学を専門とされており、里山保全に取り組む杉浦様と多岐にわたる方々にご登壇いただきました。また、村民をはじめ、源流人会会員、学校の先生、奈良県や環境省職員、漁業関係者、マスコミなど43名にご参加いただきました。これほど多様な方々が交流できたのも皆さまのおかげです。資源の価値や保全への課題を共有できる大変貴重な機会となりました。

当館の法人理事でもある横田先生より、報告者は各分野の専門家ではあるが、川上村の専門家は村民であるとの総括をいただいております。受け継がれてきた歴史や身近な物事の変化といった情報を知るのは村にお住いの皆さまに違いありません。調査・研究へ活かせる貴重な情報をお待ちしております。

◆川上村の宝もの

― 吉野川源流の水温

吉野川源流域や奈良県南部に生息するカジカ大卵型、アマゴ、ヤマトイワナは低水温の河川を生息の場としており、紀伊半島が南限になるものも多いようです。

川上村は日本列島の中では比較的南に位置します。標高の高い山岳性から低い内陸性までの気候があり、豊かな森を育んできました。その結果、集落近くの人工林や里山では手を入れ、冷涼な水が生まれる奥山には天然林が今でも残されています。

吉野林業や山岳信仰など暮らしの中で森を利活用しながら守り続けてきたことが、希少な生きものの生息する河川環境の保全へつながっています。



村内に生息するカジカ

かわかみ源流ツーリズムの 「ひとめぐりかわかみ」



冬場のプログラムは、天候の影響もあり集客しにくい時期になります。そこで、どれだけ行ってみたいと感じてもらえるプログラムを企画して、いかに興味のある人に届けるかが課題になります。ツアーでは他にはない伝統行事を中心に展開していきたいと思っています。

◆ 1月実施の体験プログラム

1月17日（土）、匠の聚で「自然の石からオリジナルの絵の具づくり」を日本画家の岸上ゆかさんのガイドで行いました。まずは石を拾いに。何気なくそこに落ちている石を拾って、細かく砕いていくと、同じような石から違う色ができるという不思議なことにまず驚きがありました。石は根気よく潰していかないと砂状になって塗った時にざらざらした感じが残ります。そこに用意された色の違う岩絵の具を混ぜて新しい色を想像しながら水を加えて溶いていきます。3色の岩絵の具を作り、はがき大の和紙に色を塗っていきます。他の人の色も借りながら塗り重ねていくとそれぞれにオリジナルな色と模様ができました。それを乾かし、額縁に入れるとまた感じの違った作品が完成しました。



その後、参加者は岸上さんのアトリエに行き、創作の現場やものすごい数の絵の具を見て感動され、質問も多くされて時間を忘れてゆったりと過ごしていました。

今回は、京都と高取町からの初めての方で、新鮮なプログラムとなりました。

◆ 1月のツアー

1月11日（日）、東川の伝統行事「弓祝式ツアー」に、リピーターと初参加の方合わせて2名に参加いただきました。事務局も初めての参加でしたが、東川在住の佐藤充さんに行事の由来や歴史について案内していただきました。

「弓祝式」は、雪が舞う中で行われ、放たれた矢が的に当たるたびに思わず喚声が上がりました。張りつめた空気と喜びの声が交差する、印象的なひとときでした。参加者は熱心に見入っておられ、他にはない伝統行事の魅力を間近で体感していただけだと思います。



【問い合わせ先】

かわかみ源流ツーリズム TEL 52-0333
営業時間 9時～17時（水曜定休）

ウェブサイト→





◆地域の自主活動から、 わくわくニューズ!

寒い日が続きますが、皆さん元気に過ごすごでしょうか。

今回は、村のあちこちで広がる自主的な介護予防の取り組みから、わくわくニューズをお届けします。

まずは白川渡。この度、新しく体操やおしゃべりを楽しむ自主活動グループが動き始めました! 「家でじっとしている時間が増えてきて、心も体も元気がなくなりそうで心配」、そんな声が集まったことをきっかけに、月1回ほど、気軽に集まってみようという話になったそうです。初回の集まりは女性中心でしたが、「こども会と一緒にやっても面白そう!」「男性も来てくれたらうれしいね」と、アイデアが次々に。なんだかこちらまでわくわくしてきますね。

投げも流行り始めていて「次に向け、体力とコントロールを鍛えてる...?」と思うほどの盛り上がりです(笑)

さらに、高原健康づくりの会では、恒例の「高原カフェ」を開催予定。お茶を飲みながらおしゃべりして、体も心もほっとする時間になりそうです。

あちこちで広がる元気とつながりの輪。聞いているだけで、「いいなあ」「うらやましいなあ」と、それぞれの地区のアイデアが広がりますね。

この冬も、じっとしているのもつたいない。

みんなで集まって、笑って、動いて、わくわく過ごしていきましよう!

健康福祉課



白川渡



柏木

地域おこし協力隊活動報告会のお知らせ

川上村では、平成25年度から地域おこし協力隊を採用しています。現在は10名の隊員が在籍しており、そのうち3名が今年度で任期を終えます。これまでお世話になった方々への感謝も含め、活動の成果の報告と任期継続となる隊員への理解を深めてもらうことを目的に活動報告会を開催します。

と き 2月14日(土) **じかん** 午後1時30分~午後4時
ところ やまぶきホール **定員** 300名 ※参加費無料

【問い合わせ先】 暮らし定住課 TEL 52-0111

法律相談のお知らせ

社会福祉協議会では、奈良弁護士会から弁護士を派遣いただき、無料法律相談を実施します。気軽にご利用ください。

※ご利用には予約が必要です。

と き 3月6日(金) **じかん** 午後1時~3時30分頃
ところ 総合センター1階 会議室 **募集人数** 5名程度
申込期限 2月26日(木)まで(期限厳守)

【問い合わせ先】 川上村社会福祉協議会 TEL 52-0294 Fax 52-0295

物価高対応子育て応援手当が支給されます

物価高の影響を強く受けている子育て家庭に向けて、「物価高対応子育て応援手当」が支給されます。対象となるのは児童手当の受給者で、児童1人あたり2万円が支給されます。

対象児童 下のいずれかに該当する児童が対象となります。

- ・令和7年9月分の児童手当を受給した児童
- ・令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童

申請方法

1. 申請不要の場合

以下の①②の方は、申請手続き不要です。支給は9月分の児童手当を支給した市町村（10月以降出生の場合は申請時の居住市町村）にお問い合わせください。

①川上村から支給される場合

- ・令和7年9月分の児童手当を川上村から受け取った方
- ・令和7年10月1日～令和8年3月31日までに出生した児童の児童手当を川上村に申請した方

②他の市町村から支給される場合

- ・令和7年9月分の児童手当を川上村以外で受け取った方（転入、単身赴任等）
- ・令和7年10月1日～令和8年3月31日までに出生した児童の児童手当を川上村以外で申請した方

2. 申請が必要な場合

③公務員の場合 居住地の市町村に申請が必要です。詳細は居住市町村にお問い合わせください。

- ・令和7年9月分の児童手当を川上村役場以外から受け取った公務員の方
- ・令和7年10月1日～令和8年3月31日までに出生した児童の児童手当を川上村役場以外で申請した公務員の方

※川上村に勤めている村内在住の公務員については申請不要で支給します。

④離婚（調停中も含む）・DV避難

令和7年10月1日以降に離婚（調停中を含む）やDV避難を開始した場合、申請によって手当を受給できる場合があります。詳細は居住市町村にお問い合わせください。

手当に関するお知らせ

川上村内にお住いの子育て世帯には、手当に関する通知をお送りしています。通知に記載された内容を確認し、必要に応じて申請等の手続きを行ってください。もし、村外にお住まいの児童がいる場合等で村から通知が届いていない場合はお問い合わせください。

【問い合わせ先】 健康福祉課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

物価高騰による地域振興券
(1人30,000円) を配布します

地域振興券の新規取り扱い事業者募集中！

「物価高騰による地域振興券」の取り扱いを希望する事業者を募集します。

※昨年度までに登録いただいている事業者につきましては、今年度も継続して登録しますので、お手続きは不要です。

登録資格 川上村内の事業者

登録業種 日常的な小売業・飲食業・洗濯業・理容業の他、各種サービス業などの幅広い業種が対象

申込方法 役場くらし定住課で配布する「登録申請書」に記入の上、提出してください

※2月20日（金）までに申請いただいた事業者は、振興券発送時に同封する「取扱事業者一覧」に掲載させていただきます。それ以降の申請については、「取扱事業者一覧」への掲載はできませんが、登録申請は11月30日（月）まで受け付けています。

※なお、地域振興券につきましては、2月末の発送を予定しております。

【問い合わせ先】 くらし定住課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

吉野税務署からのお知らせ

令和7年度分所得税及び復興特別所得税・贈与税の確定申告は、**3月16日(月)**までです！

確定申告会場は、大変混雑します

スマホ・パソコンによるe-Tax

をご利用ください。

ご自宅等から

スマホ申告は
こちらから→



吉野税務署で確定申告の申告相談等を希望される方

- ・確定申告会場の開設期間は**2月16日(月)～3月16日(月)**までです(土日・祝日を除く)。
- ・相談受付時間は、午後3時までになります(前年より相談受付の締切時間が1時間早くなっておりますので、ご注意ください。また、混雑状況により早めに相談受付を終了する場合があります)。
- ・入場には「入場整理券」が必要です(LINEでの事前発行が便利です)。

<申告書等の作成について>

- ・会場では、原則スマートフォンを利用した申告書の作成をしていただきます。
持ち物として、ご自身の「スマートフォン」と「マイナンバーカード」に加え、「マイナンバーカード取得時に設定した暗証番号(4桁・6桁以上)」を必ずご持参ください。
- ・パソコンによる申告希望の方は、長時間お待ちいただく場合があります。

「土地や建物等の譲渡所得」、「金地金などの総合譲渡」、「山林所得」、「贈与税」の相談は、専門の担当者が従事している指定日での対応となりますので、次の日付にお越しくください。

2月16日(月)、17日(火)、24日(火)、25日(水)、26日(木)、
3月9日(月)、10日(火)、11日(水)、12日(木)、13日(金)、16日(月)

【問い合わせ先】 吉野税務署 TEL 0746-32-3386

診療所からのお知らせ

【整形外科診療日】

と き 3月11日(水)

受付時間 午前8時30分～11時30分

※受診される方は、マイナ保険証または資格確認書をご持参ください。

【外来診療(予約制)】

診療・受付時間 午前9時～11時30分

休診日 火曜日、土曜日、日曜日、祝祭日

予約方法 受診の際に次回診療の予約をします(定期受診)

※お電話での予約はできません。

※最初の受診や、発熱などの急患の場合は予約なしで受診することができますが、予約診療が優先となりますのでお待ちいただくことになります。

※午後の診療は行っていません。

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



奈良県警察官（第1回）採用試験のお知らせ

試験区分	第1次試験			
	試験種目	試験日	試験種目	試験日
A男性(SPI) A女性(SPI)	基礎能力・ 適性検査	4月25日(土)～ 5月10日(日)のうち 受験者が選択する日	体力・論文・ 口述	5月23日(土)、 5月24日(日)のうち 指定する1日
A男性 A女性	教養・論文 試験	5月10日(日)	体力・口述	
武道A	教養・論文 試験	5月10日(日)	体力・実践 (剣道または柔道)	

※今年度採用試験から、次の2点について試験制度を変更しています。

- ・SPI試験の受験方法を「会場型」から「Web型」に変更
- ・資格加点制度に「空手」を追加

受験資格 (1) A (SPI) 区分、A区分

平成5年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く）を卒業した人または令和9年3月末日までに卒業見込みの人。

(2) 武道A区分

ア 平成13年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く）を卒業した人または令和9年3月末日までに卒業見込みの人。

イ 柔道二段以上または剣道三段以上を有している人。

受付期間 3月2日(月)～4月14日(火)まで

受付方法 インターネットでのみ受付（県警ホームページ参照）

【問い合わせ先】 奈良県警察本部警務課 TEL0120-351-204（採用フリーダイヤル）

自衛官募集のお知らせ

◆予備自衛官補試験

予備自衛官補とは、一般の社会人や学生といった自衛官未経験者が、所定の教育訓練を終了後に「予備自衛官」となる制度です。予備自衛官とは、普段、それぞれの職業に従事しながら予備自衛官として必要な知識・技能を維持するために定期的に訓練を受け、有事の際には自衛官となって後方の警備や後方支援、または国民の保護のための措置に従事します。

「いざ!」というときに活躍できる、予備自衛官にチャレンジしてみませんか？

試験受付 1月22日(木)～3月30日(月)

試験日程 4月1日(水)～19日(日)のうち、指定する1日

採用年齢 一般：18歳以上52歳未満

技能：18歳以上で保有している技能に応じ53歳～55歳未満

※詳細は防衛省ホームページ、または自衛隊奈良地方協力本部五條地域事務所へお問い合わせください。

◆自衛官候補生（中途採用も含む）

応募資格 18歳以上33歳未満 ※採用予定月の末日現在

受付締切 2月24日(火)まで

試験 筆記試験・適性試験：3月2日(月)～4日(水)のいずれか1日（WEB試験）

口述試験・身体検査：3月5日(木)

【問い合わせ先】 自衛隊奈良地方協力本部五條地域事務所 TEL0747-22-3789

奈良県&奥大和のコトがわかる!

公務員もめざす方むけの**合同業務説明会**

~奥大和(奈良県南部・東部)19市町村と奈良県庁~

2月28日(土) 12:30~17:30 (受付12:00~) **会場 奈良商工会議所**

南部エリア

五條市・御所市・高取町・明日香村・吉野町・大淀町・
下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・
十津川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村

東部エリア


宇陀市・山添村・
曾爾村・御杖村

**奈良
県庁**

【問い合わせ先】〒634-0003 橿原市常磐町605-5

奈良県知事公室美しい南部東部振興課 TEL 0744-48-3015

かわかみの生き物



スギ花粉

雄花から花粉が中空へ飛び立つ。春を告げる風に身を委ね、雌花との出会いを信じて山や里を巡る彼らの旅の終着点は、悲しいかな人の目や鼻の粘膜である。今や国民病ともいわれる花粉症であるが、ブタクサ花粉症が1963年、スギ花粉症が1964年に初めて報告されたに過ぎず、その歴史は意外に浅い。さて、スギ1本でどれぐらいの花粉が生成されているのだろうか。200本の枝に15本の小枝が生え、その先端に10万粒の花粉を生成する雄花が30個ついているものとして計算すると、その数なんと90億粒(重さ100グラム)。1ヘクタールあたり2,500本の杉が植えられているとすると、225兆粒の花粉(重さ250キログラム)が生成されていることになる。この量が舞うのだから、春霞の主成分の一つがスギ花粉であることも頷ける。

はつらつ応援券のご利用は

2月28日(土)まで!

有効期限を過ぎると無効となり、使用できません。ご注意ください!



【問い合わせ先】

健康福祉課 TEL 52-0111

広報かわかみ 令和8年2月10日発行
 発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
 〒639-3694 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
 TEL 0746-15210111
 ホームページ <https://www.vill.kawakami.nara.jp>
 メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

村の人口

1月31日現在			
人口総数	1,162人	(-3人)	
男	553人	(+1人)	
女	609人	(-4人)	
世帯数	701世帯	(-2世帯)	
1月中の異動			
転入	1人	転出	5人
出生	0人	死亡	0人